

1 開会の宣言

議 長 出席委員が定数に達したので、定刻通り午後2時00分、本会を開会する旨を宣言した。

傍聴人の確認

議 長 傍聴人の有無を確認するよう事務局に指示したところ、いなかった。

2 署名委員の選任

議 長 署名委員に平野修一農業委員、安藤敏男農業委員を選任した。

3 参与の承認及び書記の任命

議 長 参与に荒井農業委員会事務局長を承認し、書記に小宮山農業委員会事務局次長、大室主査、尾崎主任を任命した。

4 議 事

議案第15号

農地法第5条の許可申請について

議 長 議案第15号について事務局に説明を求めた。

事 務 局

議案書を朗読した。申請番号1、地区は上平地区、権利は使用貸借権、所在は大字上字谷通で、地目は登記、現況とも畑の1筆である。渡人が妻、受人が夫である。形態は転用で用途は専用住宅敷地、施設は木造二階建て、建物を建てるため開発許可が必要である。接道に下水道及びガス管が

通り、500m以内に教育施設及び医療施設があるため、農地区分は第3種農地となり、原則許可の案件である。

議 長 地区担当委員に現地調査結果の報告を求めた。

大塚推進委員 申請番号1について、上平地区の大塚推進委員が報告した。現地調査を7月20日(水)に、地区担当委員4名で実施した。写真にあるとおり、現地はしっかりと管理されている。土地選定理由書が提出されているため、朗読した。

議 長 本件について意見を求めるが特に無かったため、議案第15号について採決を行ったところ、賛成全員で承認することを宣した。

議案第16号 生産緑地に係る農業の主たる従事者についての証明願について

議 長 議案第16号について事務局に説明を求めた。

事務局 議案書を朗読した。申請番号1、地区は大谷地区、地目は登記、現況ともに畑。事由は事由発生者の死亡で、続柄は親子である。従事日数は事由発生者が300日、他の方が280日、40日、40日となっており、従事日数は問題ない。申請番号2、地区は大谷地区、地目は登記、現況ともに畑。事由発生者及び事由は申請番号1と同じである。申請番号1、申請番号2は、作付けはされていないが、農地としては保全管理されており、問題ない。

申請番号3は、地区は大石地区、登記、現況ともに畑2筆である。事由は事由発生者の死亡で、続柄は親子である。従事日数は事由発生者が300日、他の方が300日、200日となっており、従事日数は問題ない。現地は特に作付けされていないが、保全管理されており、問題ない。

議 長 本件について意見を求めるが特に無かったため、議案第16号について採決を行ったところ、賛成全員で承認することを宣した。

議案第17号

相続税の納税猶予に係る特例農地等の利用状況の確認について

議案第17号について事務局に説明を求めた。
事務局

議案書を朗読した。申請番号1、地区は大石地区。地目は登記が原野、山林、田、畑となっており、現況は全て畑で合計8筆である。2筆は作付けされていないが保全管理されている。他は栗畑、サツマイモ、露地野菜が作付けされており、農地として利用されている状況である。

議案について意見を求めた。
藤波農業委員

本件について意見を求めた。
同じ地区を農地パトロールで回っているが、河川敷では埋め立てされている所があり、農地として改善される見込みがないように思う。

農地であれば、保全管理していただき、遊休農地になっていけば管理するように指導していく。
登記上、原野というのはどういうことか。
事務局
内田農業委員
事務局

農地台帳上、原野であっても課税地目が畑というのがたまにある。農地法上は現況主義なので、登記地目ではなく、現況が農地で農地台帳に載れば、農地法の網がかかることになる。

大石地区は違法な埋め立てなどで畑に入れられない場所もあると聞いている。
藤波農業委員
局長

大石地区は違法な埋め立てなどで畑に入れられない場所もあると聞いている。
農地なので農地として活用してもらおうという指導しかない。土地の形状から農業をするのは難しい場所であっても、周囲の環境に影響がないように管理するなどの指導を行っている。

本件についてさらに意見を求めるが特に無かったため、議案第17号について採決を行ったところ、賛成全員で承認することを宣した。
議長

本件についてさらに意見を求めるが特に無かったため、議案第17号について採決を行ったところ、賛成全員で承認することを宣した。

5 報告第4号専決処分について

- (1) 農地法第4条の届出の受理について
- (2) 農地法第5条の届出の受理について
- (3) 農地法第18条第6項の合意解約の通知について

6 閉会

議 長 以上で今回の提出議案全てについて審議が終了した旨を宣言し、午後2時45分、本会を閉会した。

7 その他

上記のとおり、会議の顛末が相違ないことを証するためここに署名いたします。

令和4年7月25日

議 長

署名委員

署名委員